

# 新潟港湾・空港整備事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

私ども新潟港湾・空港整備事務所では、以下の取組をはじめとする各種取組を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、港湾及び海岸の整備と振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



## 新潟港カーボンニュートラルポート形成への取組

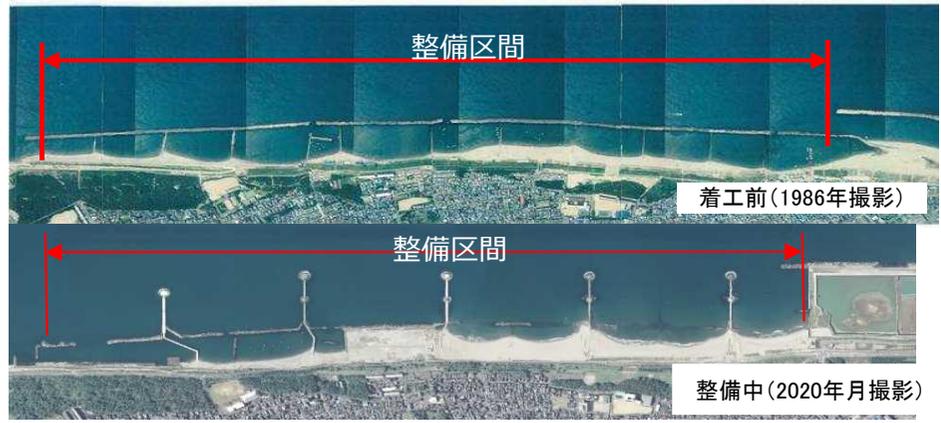
新潟港湾・空港整備事務所では、国際サプライチェーン拠点かつ産業拠点である新潟港において、新潟県と共同し、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて「カーボンニュートラルポート(CNP)」を形成し、我が国全体の脱炭素社会の実現に貢献していくこととしています。CNP形成計画の策定に向けて、新潟県で設置する「新潟港CNP形成協議会」に参画し、CNPの形成に向けた検討を新潟県と連携して進めます。

**【目標】 2022年度:検討協議会を立上げ、新潟港CNP形成計画の策定 → 計画目標達成に向けた取組**



## 新潟西海岸再生への取組

新潟西海岸は、明治以降の河川改修や河口突堤築造等の影響により、昭和60年迄に海岸汀線が最大350mも後退しました。そこで、面的防護工法(沖合に築造する潜堤、砂浜から直角に伸びる突堤、人工砂浜(養浜))を採用し、海岸侵食の防止、広い静穏水域と砂浜の再生による親水空間の創出に取り組んでいます。



## 新潟港(東港区)防波堤(西)の整備

新潟港東港区は、国際海上コンテナターミナルの立地等、新潟県および背後圏域の物流を支えています。東港区の第一線防波堤である防波堤(西)は、堤体前面の洗掘による波高増大により、過去2度の被災を受けており不安定な状態にあるため、航行船舶の安全を保つことを目的に、1980年度より改良事業(2,578m)を行ってきました。現在は、消波被覆ブロックの据付工事等を行っています。

